



社会福祉法人 人を支える 生活を支える

佐賀整肢学園

SAGA SEISHI GAKUEN Since 1960

- 発行：令和3年9月
- 発行元：社会福祉法人 佐賀整肢学園
- 発行者：理事長 中尾清一郎
- 編集：法人広報誌編集委員

学園タイムス

2021-9 Vol. **31**

社会福祉法人 佐賀整肢学園

Sagaseishigakuen times

「七夕」

こども発達医療センターでは、外来患者様に季節を感じていただけるよう、七夕飾りを総合受付に設置しました。「サッカー上手になりたい」「足がはやくなりますように」「告白が成功するように」「国語の点数があと10点あがりますように」「AKB48に会えますように」などなど、こどもたちの願いごとにほっこりしました。みんなの願いが叶いますように。



- 巻頭言…2
- REPORT…3
- 事業所 TOPICS…4~5
- 決算報告…6
- 学園 FOCUS…7
- 常務随想 リレーコラム…8
- ボランティア・施設見学・実習状況 みどころ…8

法人事務局 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立2215-27 TEL0952-97-6611 FAX0952-97-6611	こども発達医療センター 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立2215-27 TEL0952-98-2211 FAX0952-98-3391	オークス 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立168-1 TEL0952-98-3770 FAX0952-98-3772	かんざき清流苑 〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2927番地2 TEL0952-52-8890 FAX0952-52-9977
在宅サポートセンターかんざき清流苑 〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2927番地2 TEL0952-52-8915 FAX0952-52-9977	からつ医療福祉センター 〒847-0001 佐賀県唐津市双水2806 TEL0955-70-3580 FAX0955-78-0683	からつ医療福祉センター-在宅事業部 〒847-0001 佐賀県唐津市双水2806 TEL0955-70-3580 FAX0955-78-0683	からつ医療福祉センター-好学会 〒847-0001 佐賀県唐津市双水2787-1 TEL0955-78-1123 FAX0955-78-3001
糸島こどもとおとなのクリニック 〒819-1301 福岡県糸島市志摩井田原63-1 TEL092-327-0073 FAX092-327-0361	かんざき日の隈寮 〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2950-2 TEL0952-52-2229 FAX0952-52-7229	佐賀向陽園 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立801-1 TEL0952-98-1074 FAX0952-98-3145	居宅介護支援センターわいわい 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立799番地 TEL0952-71-8250 FAX0952-71-8252



内水氾濫等の懸案事項と その対策について

からつ医療福祉センター
久里双水園 施設長

笠野 健二

このたび、久里双水園の前任の岩瀬裕幸施設長に代わり、施設長を拝命することになりました。このような大役を仰せつかるには誠に微力ではありますが、関係機関やご利用者様・ご家族様・職員への気配り等まだまだ前施設長には遠く及びませんが、関係各位ならびに職員の皆様のご助言・ご協力を仰ぎながら業務に精進していく心づもりです。どうぞよろしくお願い致します。

当施設（佐賀整肢学園からつ医療福祉センター）は、平成14年に佐賀県北部県民の要請を受け開設した医療福祉複合施設です。心身に障害を持つ方々への入所通所事業だけでなく、北部地区に在住される障害児者の方々への医療提供も行っており、大規模災害時の在宅障害者の避難施設としても期待されております。

近年、大雨警報・洪水警報が発報されることが多いようです。また、「線状降水帯による記録的な大雨」「災害級の大雨」こんな報道を梅雨から夏にかけて当たり前のように聞くようになってきました。当施設は、一級河川である松浦川の横に構えているため、設計時より洪水被害の想定があったようで、1階部分はピロティ化がされています。ただ近年のハザードマップによると、当施設は3～5mの浸水が想定されているとのことで、内水氾濫等による被害を最小限とするために、対策を行っております。具体的には警報が出るたびに公用車を高台に移動させ、1階の出入り口には防水板等を設置。警報が解除されると、公用車を元の駐車場に戻し、防水板を撤去する。このような作業を毎年のように行っております。幸いにもなんとか浸水被害が出る程の雨量にはさらされておりましたが、実際に浸水が発生した場合は、施設機能の停止が予想され、その場合、災害弱者でもあるご利用者様への影響が心配されます。また皆様ご存じの通り、今年も特別警報がでる程の大雨が発生して、当施設が属する佐賀県においても甚大なる被害が発生しています。

そこで、昨年度は古くなり故障が頻発していたガスエアコンとそのガスタンクの刷新を図ると同時に、ガスタンクについては高所に移動を行い、ガスの非常用発電機の追加設置等、停電や洪水等大規模災害発生時においても給食業務やエアコン利用に影響を及ぼさないようにすることができました。しかし、まだ1階には貯水槽、浄化槽、消防ポンプ等の重要な設備が設置された状態となっていること、他に当直室・宿舎・通園施設等も設置されていることなど、建物・設備としては洪水への対応がまだ十分ではありません。このように毎年、大雨・洪水警報におびえている状況ですので、今年度は、施設周辺敷地内を流下している農業用排水路より松

浦川へ直接排水するための大型の排水ポンプの設置の検討することとしました。佐賀県・唐津市のご担当職員様方にはとても精力的に協力をいただいております、関係機関との打合せも進んでおります。排水ポンプを設置することにより洪水被害を完全に無くすことは無理かもしれませんが、大規模浸水被害の軽減と対策を行うまでの時間稼ぎができると考えております。障害福祉事業の推進とともに災害時に人命を守るための施設整備は必須事項であり、障害児者の受け入れや災害時の避難場所としての当施設の役割は非常に大きいと思いますので、関係諸機関の皆様方、どうぞよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスについては、感染拡大により施設の運営が一変しました。様々な感染対策と共に、ご家族様・ご来賓の行事参加や面会をお断りし、外出行事についても一旦全て中止とした時期もありましたが、職員の工夫により施設内における行事等を充実させることができました。このような中、おかげさまで体質等で希望できなかったものを除きご利用者様・職員のほぼ全員にワクチンを接種することができ少し安堵することができました。ただ、全国的には、まだ2回接種した人の割合は3～4割位で集団免疫の獲得に必要な6～7割にはまだまだ時間がかかりそうです。さらに、置き換わりが進んでいる変異株の動きが気になるところで、デルタ型では8～9割が2回接種しないと集団免疫が獲得できないとか、ワクチンの予防効果はデルタ株の方が低いとかの話があるようですし、また接種から時間がかかると予防の効果が下がることが指摘されているようですので、まだまだ今後も感染対策の徹底や見直しが必要だと考えます。関係機関のご協力により検査方法が充実しつつありますので、引き続きご利用者様の安全安心に留意した上で、少しでも快適な生活を過ごして頂けるように心がけて行ければと思っています。ご利用者様とご家族様にはまだまだご不便をお掛けしますが、どうぞご協力の程よろしくお願い致します。

事務方で働かせて頂いた期間が非常に長く、施設のことを数字や文書で把握することが多かったのですが、施設長を拝命した数ヶ月で、職員はもとよりご利用者様・ご家族様と直接話をさせていただくことで、それぞれが抱えている課題がとても多いことがわかるようになりました。最適解に導く程の手腕はまだありませんが、皆様が少しでも幸せに暮らしていけるように一緒に学びながら貢献して行ければと思っています。これからも誠心誠意頑張らせて頂きたいと考えておりますので、今後とも、皆様のお力添えお引き立てをよろしくお願い申し上げます。

研修 会

第44回 九州地区救護施設職員研究大会（オンライン研修会）



7月9日に九州地区救護施設職員研究大会が開催されました。各施設で実際に取り組んでいる内容を共有し、直面する課題等について研究・協議することを目的としています。今年度はコロナ禍ということで、オンライン形式での研修会となりました。

この研究大会において、かんざき日の隈寮の「コロナ禍における利用者支援について」というテーマで意見発表を行いました。

現在、日の隈寮では『持ち込まない・持ち出さない』『施設内で蔓延させない』『生活にメリハリと楽しみを持たせる』を感染症対策の基本方針とし、様々な取り組みを行っています。

職員代行による買い物や宅配サービスの活用、店舗（コニコ鍋島店様）の貸し切りやカタログ・ネット通販による衣類購入等、これまでの行事や各種支援が新しい生活様

かんざき日の隈寮 入所サービス課 主任 向野 亜里紗

式に変わりました。また、定期的に神埼市内の飲食店やパン屋を利用したテイクアウト昼食会の企画や、施設慰問に代わりオンラインライブを開催するなど、コロナ禍においても日々の生活を楽しんでいただけるよう支援を行っています。その他、BCP（発生時対応事業継続計画）に沿って、コロナ感染者の発生を想定した食事の提供訓練やゾーニング、コロナ禍における生活困窮者支援等について、写真や表を使って紹介しました。

今回の研修は参集型での開催とは違った緊張感がありましたが、他施設の取り組みや直面する課題について知る機会となり、貴重な経験をさせていただきました。また、職員・利用者の方の協力のもと無事に発表を終え、優秀賞を受賞することができ、大変嬉しく思っています。今後もコロナ対策を徹底しながら、利用者の方のニーズに応じた支援を行っていききたいと思います。



新任 役員

社会福祉法人佐賀整肢学園新任役員紹介

令和3年4月より森木久氏が新監事に就任されました。

また令和3年6月よりこども発達医療センター副院長の和田晃房氏が新理事に就任されました。



もりき ひさし
森木 久 監事

昭和52年4月 佐賀県庁 入庁
平成17年6月 佐賀県健康福祉本部 長寿社会課長
平成19年4月 佐賀県健康福祉本部 副本部長
平成25年4月 佐賀県総合福祉センター 所長
平成26年4月 地方独立行政法人
佐賀県医療センター好生館 理事室長
令和2年9月 公益社団法人佐賀県社会福祉士会事務局



わだ あきふさ
和田 晃房 理事

平成7年5月 九州大学医学部附属病院
平成8年5月 九州労災病院
平成9年6月 三菱化学病院
平成10年1月 新潟手の外科研究所
平成13年4月 福岡市立こども病院
平成14年7月 福岡市立こども病院
整形外科医長
平成23年4月 佐賀整肢学園
こども発達医療センター
平成31年1月 佐賀整肢学園
こども発達医療センター 副院長

まるで映画館のような映写会 6月

オークス



コロナ禍の中、外出ができない入所利用者の皆さんより、「映画館に行きたい。」「鬼滅の刃を観たい。」という声を聞き、施設内で何とか映画館の雰囲気が出せないだろうかと考え、スクールの大きい映写会を開くことになりました。200インチのスクリーンにシアターセット、まるで映画館のような映写会を開催することができました。利用者の方より、「感動した〜。」「また違う映画も見たい。」「次は〇〇〇の映画ね。」など、楽しそうに話してくれました。



映写会は、毎週開催することになり、利用者の方の年代に合わせた映画を上

映していければと考えています。コロナ禍の中、少しでも利用者の方に楽しんでいただけるよう工夫しながら、各種行事等も行っていきたいと思ひます。(総務課 係長 兵動 文泰)

七夕会

7月

こども発達医療センター

毎年各病棟にて行われている恒例の七夕会を、第3病棟では7月6日に行いました。

当日はあいにくの雨でしたが、七夕の由来や歌を楽しみ、その後、利用者の方と一緒に、願いを込めて書いた短冊や、手作りした輪飾り、吹き流し等を笹に飾り付けました。笹の「カサカサ」という音に驚かれたり、色とりどりの飾りを見て楽しんだり、病棟内は七夕の雰囲気に包まれました。

おやつには、経口摂取が難しい第3病棟の利用者の方にも味わっていただけるよう、かき氷を準備しました。目で見ても、食べても楽しめるように、レインボー色のかき氷にしました。



味も7種類あり、モグモグと口を動かし味わっていらっしゃる方、冷たかったのかこわばった表情になられる方等、利用者の方の色々な表情をみることができました。少し早いですが、夏らしい雰囲気も味わっていただけたのではないかと思います。

今年もコロナ禍の影響で、ご家族と一緒に行事を楽しんでいただくことが難しい状況が続いていますが、少しでも利用者の方々に、行事を通して季節を感じ、楽しい時間を過ごしていただけるよう努めていきたいと思ひます。(第3病棟 副主任 飯田 千鶴)



夢かなえ事業

7月

かんざき清流苑



特別養護老人ホームかんざき清流苑では年に数回、利用者の方の要望に沿った「夢かなえ事業」を実施しています。今回は、7月8日に利用者の方々と「柳川藩主立花邸 御花」へ鰻のせいろ蒸しを食べに行きました。移動中のバスの中では職員によるバスガイドに、皆さん笑顔で耳を傾けられていました。当日はあいにくの天気でしたが、食事処の窓からは庭の草木が雨に濡れ鮮やかな緑色の景色が広がっており、とてもいい雰囲気の中で食事を楽しむことができました。今回の参加者は男性が多く、普段の食事は早く食べてしまわれる方が多いのですが、

職員や実習生とお話をしながら鰻のせいろ蒸しを30分ほどかけてゆっくりと味わいながら食べられていました。中には夫婦で参加された方もおられ、落ち着いた雰囲気の中で二人の時間を過ごされていました。

帰りには諸富町の昇開橋にて景色を見る予定でしたが、残念ながら雨脚が強くなりバスから降りられない状況で中止となりました。帰りのバスでは皆さん、楽しすぎて疲れたのかぐっすり眠られている方も多かったです。

天気が悪く予定通りの活動はできませんでしたが、コロナ禍で苑内外での行事がしばらく開催されておらず、久しぶりの行事ということもあり参加された利用者の方皆さん本当に楽しまれている様子でした。

(入所サービス課 介護福祉士 中村 旭)



事業所 TOPICS

アルコール支援活動について

かんざき日の隈寮



かんざき日の隈寮には、アルコール依存症の利用者の方が全体の20%ほどいらっしゃいます。平成20年の開設以来、対象者に特化したアルコール支援活動を行ってきました。同じ依存症で悩んできた利用者の方同士が集まって、自身の過去の体験を話し合い、レクリエーション等に参加することで相互理解を図り、断酒への意識を強めることを目的としています。

しかし、昨年からのコロナ禍の影響でしばらく活動ができていませんでした。そのような中でも、利用者の方から活動を希望する声が上がっており、4月から屋外でできる活動を中心に再開しました。久しぶりの活動であったにも関わらず、

多くの利用者の方が参加され、過去の話を花を咲かせながら「断酒を頑張ろう」と互いに励まし合っておられました。また、活動後には缶コーヒーをお酒の代わりに提供し大変満足されていました。

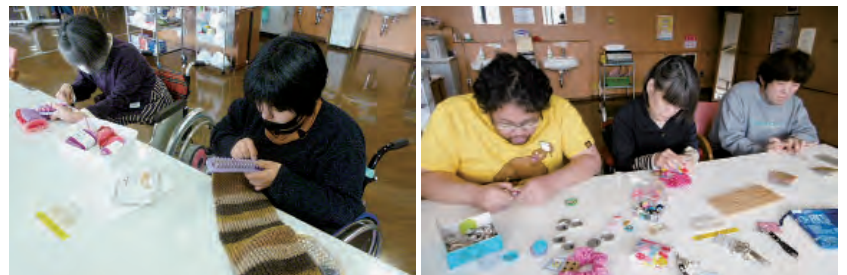
これからも、アルコール依存症の利用者の方たちが繋がり支えあう場として支援活動を継続したいと思います。

(入所サービス課 生活支援員 中島 賢吾)

生産活動

からつ医療福祉センター

生活介護では、利用者の方の就業機会確保のために、平成25年11月より生産活動を行っています。開設当初は、利用者の方が昼食やおやつで使用するおしぼりを巻く作業や、広報誌を外部に送る際の宛名シールの貼り付け作業を行ってきました。その後、新たに布小物作りに挑戦し、主に施設内の行事等で販売しています。また、行事だけでなく、施設見学に来られた方への販売や、唐津市で行われている「ふれあい福祉まつり」での販売などにも意欲的に取り組んでいます。



コロナ禍で、施設外での販売はおろか、行事も縮小され販売の機会が少なくなっていました。そのような中でも、生活介護内で常設販売をする事で売り上げを確保し、生産活動に参加した利用者の方に工賃を渡す事ができ、皆さん大変喜ばれていました。工賃を受け取られた時の笑顔を見ると、生産活動を始めて良かったと実感します。今後も働く場を提供しながら、楽しんで生産活動を行えるように工夫していこうと思います。(在宅サービス課 生活支援員 波多 由香里)

あつまろうよつばカフェ

佐賀向陽園・わいわい



わいわいに変更、開催日を毎月第4土曜日としています。名称も参加者の総意で「あつまろうよつばカフェ」に変更、リニューアルオープンです！地域の高齢者やボランティアの大学生などが一緒に脳トレや感染症対策を学んでいます。美味しいケーキや好みのドリンクを楽しみながら近況を話し、笑いや涙ありのサプライズもあつたりとたくさんの笑顔で過ごされています。

コロナ禍の状況で、外出をせずに家に引きこもるようになり、人付き合いが無くなる事で、その人らしい生き方が奪われる可能性もあります。まだスタートラインに立ったばかりですが、「あつまろうよつばカフェ」を通じて、少しでも地域の高齢者の活性化や人付き合いの高まりが図られたらと思っています。

(居宅介護支援センターわいわい 主任 宮本 稔也)

決算報告

法人全体の令和2年度決算は次のとおりであり、6月29日の定時評議員会で承認されました。
 (社会福祉事業：13拠点 公益事業：2拠点)
 令和2年度の資金収支差額は83,443千円であり、サービス活動増減差額は161,903千円の増収となりました。
 また、純資産は763,690千円の増額で170億円弱となりました。

資金収支計算書

単位：千円

勘定科目	予算	決算	差異
事業活動による収支			
収入			
介護保険事業収入	622,119	620,415	1,704
老人福祉事業収入	203,784	203,222	562
児童福祉事業収入	201,967	226,736	△ 24,769
保育事業収入	5,674	4,939	735
就労支援事業収入	9,800	4,066	5,734
障害福祉サービス等事業収入	2,072,097	2,065,332	6,765
生活保護事業収入	257,075	256,981	94
医療事業収入	3,059,855	3,019,553	40,302
私的契約事業収入	10,149	11,499	△ 1,350
経常経費寄附金収入	5,333	4,715	618
受取利息配当金収入	11,520	11,962	△ 442
その他の収入	10,310	12,834	△ 2,524
事業活動収入計(1)	6,469,683	6,442,254	27,429
支出			
人件費支出	4,365,203	4,278,070	87,133
事業費支出	830,496	772,859	57,637
事務費支出	555,236	452,133	103,103
就労支援事業支出	9,800	8,786	1,014
利用者負担軽減額	1,934	1,753	181
その他の支出	0	0	0
流動資産評価損等による資金減少額	152	151	1
事業活動支出計(2)	5,762,821	5,513,752	249,069
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	706,862	928,502	△ 221,640
施設整備等による収支			
収入			
施設整備等補助金収入	375,780	376,153	△ 373
その他の施設整備等による収入	48	48	0
施設整備等収入計(4)	375,828	376,201	△ 373
支出			
設備資金借入金元金償還支出	2,760	2,760	0
固定資産取得支出	742,042	707,784	34,258
ファイナンス・リース債務の返済支出	624	622	2
その他の施設整備等による支出	145	144	1
施設整備等支出計(5)	745,571	711,310	34,261
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 369,743	△ 335,108	△ 34,635
その他の活動による収支			
収入			
長期貸付回収収入	1,474	2,288	△ 814
積立資産取崩収入	307,235	246,280	60,955
その他の活動による収入	0	0	0
その他の活動収入計(7)	308,709	248,568	60,141
支出			
長期貸付金支出	1,090	922	168
積立資産支出	757,966	757,597	369
その他の活動支出計(8)	759,056	758,519	537
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 450,347	△ 509,951	59,604
予備費(10)	8,123	—	7,069
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 120,297	83,443	△ 203,740
前期末支払資金残高(12)	1,988,947	1,988,944	3
当期末支払資金残高(11)+(12)	1,868,650	2,072,387	△ 203,737

事業活動計算書

単位：千円

勘定科目	当年度決算	前年度決算	増減
サービス活動増減の部			
収益			
介護保険事業収益	620,415	594,023	26,392
老人福祉事業収益	203,222	201,226	1,996
児童福祉事業収益	226,736	221,307	5,429
保育事業収益	4,939	3,706	1,232
就労支援事業収益	4,066	4,051	16
障害福祉サービス等事業収益	2,065,332	2,014,233	51,099
生活保護事業収益	256,981	252,023	4,958
医療事業収益	3,019,553	2,949,311	70,242
私的契約事業収益	11,499	13,489	△ 1,990
経常経費寄附金収益	4,715	9,437	△ 4,722
サービス活動収益計(1)	6,417,458	6,262,806	154,651
費用			
人件費	4,279,034	4,248,511	30,524
事業費	772,441	748,016	24,425
事務費	452,134	465,461	△ 13,328
就労支援事業費用	8,786	8,593	193
利用者負担軽減額	1,753	1,775	△ 22
減価償却費	531,918	533,823	△ 1,905
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 203,256	△ 156,268	△ 46,987
徴収不能引当金繰入	0	151	△ 151
サービス活動費用計(2)	5,842,810	5,850,061	△ 7,251
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	574,648	412,745	161,903
サービス活動外増減の部			
収益			
受取利息配当金収益	11,962	13,962	△ 1,999
その他のサービス活動外収益	12,834	23,917	△ 11,083
サービス活動外収益計(4)	24,797	37,879	△ 13,082
費用			
その他のサービス活動外費用	2,351	16,680	△ 14,330
サービス活動外費用計(5)	2,351	16,680	△ 14,330
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	22,446	21,198	1,248
経常増減差額(7)=(3)+(6)	597,093	433,943	163,150
特別増減の部			
収益			
施設整備等補助金収益	376,153	3,846	372,308
固定資産受贈額	4,092	0	4,092
特別収益計(8)	380,245	3,846	376,400
費用			
固定資産売却損・処分損	10,362	31	10,331
国庫補助金等特別積立金取崩額(除)	△ 4,238	0	△ 4,238
国庫補助金等特別積立金積立額	376,153	3,846	372,308
特別費用計(9)	382,277	3,876	378,400
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 2,031	△ 31	△ 2,001
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	595,062	433,912	161,150
前期繰越活動増減差額(12)	8,371,861	8,496,301	△ 124,440
当期繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	8,966,923	8,930,214	36,710
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	243,965	145,000	98,965
その他の積立金積立額(16)	750,248	703,352	46,896
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	8,460,640	8,371,861	88,779

貸借対照表

単位：千円

資産の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産(1)	2,598,179	2,233,571	364,608
現金預金	1,547,594	1,274,216	273,378
有価証券	0	0	0
事業未収金	975,211	926,863	48,348
未収金	0	0	0
未収補助金	30,780	14,481	16,299
医薬品(2)	4,448	4,030	418
立替金	24,416	2,197	22,218
前払金	4,232	1,466	2,766
前払費用	7,474	7,503	△ 29
(ワイヤールール流動資産の合計)(3)	1,454	1,474	△ 20
1年以内返済予定長期貸付金	1,454	1,474	△ 20
仮払金	2,571	1,491	1,080
徴収不能引当金(4)	0	△ 151	151
固定資産	15,056,088	14,384,812	671,276
基本財産	8,321,630	8,169,781	151,849
土地	1,774,367	1,774,367	0
建物	6,547,262	6,395,413	151,849
その他の固定資産	6,734,459	6,215,031	519,427
土地	513,611	513,611	0
建物	220,239	149,121	71,118
構築物	459,730	506,237	△ 46,507
車輛運搬具	35,754	46,746	△ 10,992
器具及び備品	245,381	245,886	△ 504
建設仮勘定	0	0	0
有形リース資産	0	622	△ 622
権利	3,836	4,199	△ 362
預託金	3,941	3,887	54
ソフトウェア	9,873	4,310	5,563
長期貸付金	6,199	9,896	△ 3,697
役員退職慰労引当資産	2,440	2,260	180
退職給付引当資産	27,695	22,841	4,854
(積立預金の合計)	5,190,253	4,684,001	506,252
運営資金積立資産	717,648	573,371	144,277
土地購入積立資産	420,000	380,000	40,000
建設準備積立資産	460,000	467,000	△ 7,000
人件費積立資産	62,500	53,000	9,500
修繕積立資産	493,000	463,500	29,500
備品等購入積立資産	295,638	273,818	21,820
減価償却積立資産	2,628,500	2,364,500	264,000
リスク対策積立資産	46,459	42,459	4,000
移行時特別積立資産	11,000	11,000	0
御下賜金記念基金積立資産	55,000	55,000	0
その他の積立資産	508	353	155
差入保証金	144	48	96
長期前払費用(5)	15,331	21,336	△ 6,005
その他の固定資産	30	30	0
資産の部合計	17,654,267	16,618,383	1,035,884

負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動負債(6)	766,350	496,430	269,920
事業未払金	500,855	228,705	272,150
(ワイヤールール流動負債の合計)(7)	2,760	3,382	△ 622
1年以内返済予定設備資金借入金	2,760	2,760	0
1年以内返済予定リース債務	0	622	△ 622
預り金	749	2,035	△ 1,286
職員預り金	32,580	28,854	3,726
前受金	2	3	△ 2
前受収益	990	990	0
仮受金	45	22	22
賞与引当金(8)	228,369	232,439	△ 4,070
※当期末支払資金残高(1)-(2)-(3)-(4)+(5)-(6)+(7)+(8)	2,072,387	—	2,072,387
固定負債	58,425	56,151	2,274
設備資金借入金	28,290	31,050	△ 2,760
リース債務	0	0	0
役員退職慰労引当金	2,440	2,260	180
退職給付引当金	27,695	22,841	4,854
負債の部合計	824,775	552,581	272,194
純資産の部			
基本金	29,492	29,492	0
基本金	29,492	29,492	0
国庫補助金等特別積立金	3,149,107	2,980,448	168,659
国庫補助金等特別積立金	3,149,107	2,980,448	168,659
その他の積立金	5,190,253	4,684,001	506,252
運営資金積立金	717,648	573,371	144,277
土地購入積立金	420,000	380,000	40,000
建設準備積立金	460,000	467,000	△ 7,000
人件費積立金	62,500	53,000	9,500
修繕積立金	493,000	463,500	29,500
備品等購入積立金	295,638	273,818	21,820
減価償却費積立金	2,628,500	2,364,500	264,000
リスク対策積立金	46,459	42,459	4,000
移行時特別積立金	11,000	11,000	0
御下賜金記念基金積立金	55,000	55,000	0
その他の積立金	508	353	155
次期繰越活動増減差額	8,460,640	8,371,861	88,779
次期繰越活動増減差額	8,460,640	8,371,861	88,779
(うち当期活動増減差額)	595,062	433,912	161,150
純資産の部合計	16,829,492	16,065,801	763,690
負債及び純資産の部合計	17,654,267	16,618,383	1,035,884

- 減価償却費の累計額 6,688,593,453 円
- 徴収不能引当金の額 0 円

学園 FOCUS



佐賀整肢学園で活躍する様々な人に焦点を当てる「学園 FOCUS」。

今回は、居宅介護支援センターわいわい グループデイサービス 介護職員の中村 聡さんに、趣味のキャンプについて語っていただきました。

Q 昨今のキャンプブームですがキャンプ等に目覚めたきっかけは何でしょうか？

A 中学1年生の時、自転車でテントとハンゴウを持って佐賀⇒熊本⇒長崎をサイクリングしたのが最初です。大人になってからは、関東周辺、北海道1周をバイクやランクルで回ったり、ニュージーランド1周を自転車で旅をしたりしました。30代、40代は、ファミリーキャンプだけでしたが、還暦すぎて、また、野宿遊びやデイハイクをするようになりました。

Q おすすめのキャンプ場はどこですか？

A ほとんどキャンプ場は使わないので背振の岩屋うどんキャンプ場や河川敷でやっています。もちろん許可は得てですが、佐賀だと北山かな。

Q おすすめのキャンプ飯は何でしょうか？

A グルメではないので特にはないですが、寒い時期のコーヒーは最高です。野外では何でもおいしくいただいています。



Q ソロキャンプでの注意点は何か？

A マナーを守り、その土地にダメージを与えないように、来た時と同じ状態で帰ることだと思います。もしもない時間、あるいは電気やガス等を使わない不便さを楽しんでます。プリミティブな感じが好きです。



なかむら さとし
中村 聡さん

居宅介護支援センターわいわい
グループデイサービス
介護職員

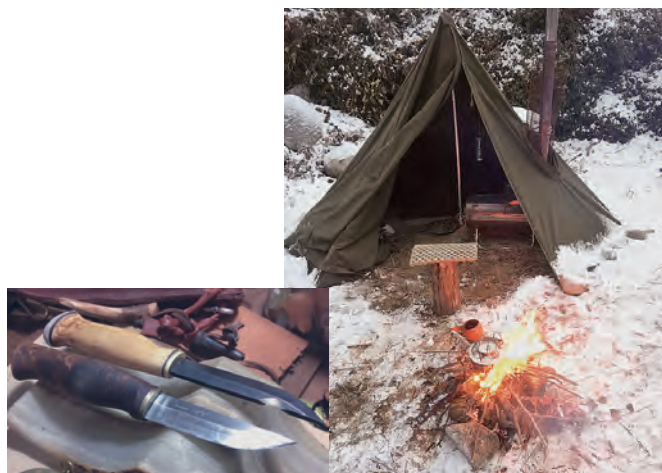


Q 四季の中で好きなキャンプシーズンはいつでしょうか？

A 冬が最高です。特に積雪の時は最高です！夏は基本的にオフシーズンと自分で決めています。

Q 最後に一言お願いします！

A 70歳までにもう一度、放浪の旅に出るつもりです。コロナが収まり次第、東ヨーロッパ、フィンランドあたりを、ギターとテントをかついで回るのが夢です。



NEXT…からつ医療福祉センターのあの人に FOCUS !!

常務随想

「現在・過去・未来」 ～時の流れに逆らって

往年(1977年)のヒット曲『迷い道』の歌いだしは「現在・過去・未来～」で始まる。同曲のシンガーソングライターである渡辺真知子さんが、このフレーズに関わるあるエピソードを披露されていた

2019年にノーベル化学賞を受賞された吉野彰博士は、この歌を耳にされて「何故、過去・現在・未来ではないのか」と疑問に思われたそうである。ちょうどその頃、研究に行き詰っておられた博士は、この歌詞がヒントになって「現在から過去を振り返り、それから未来を予測することが大切だ」との考えに至って、リチウムイオン電池の研究に着手され、40年後のノーベル化学賞の受賞に結び付けられたとのことである。凡人は、ただ聞き流し、あるいは口づさむだけで終わってしまうヒット曲から、研究の手がかりを得られるところが偉大な科学者の所以なのであろう。

また、日経新聞の記事にも「現在・過去・未来」の見出しを見つけた。同紙の『マナーのツボ』のコーナーに「初対面での自己紹介」のやり方が記載されていたが、自己紹介のひとつの形は、「現在・過去・未来で話す」こととされていた。同記事によれば、出だしは、「現在」所属している会社名、部署、肩書などを述べる。続いて、「過去」について、アピールポイントにつながるエピソードを盛り込んで当人の人柄を売り込み、最後に「未来」について決意を述べて、プラスの印象で締めくくることが、自己紹介のコツとのことである。参考にして頂きたい。

(常務理事 寺崎 敏光)

Relay Column



佐賀整肢学園・オークス
総務課 庶務会計係
係長

ひょうどう ふみひろ
兵動 文泰

私の生まれ故郷は、現在過疎化に悩んでいます。独居住宅や高齢者世帯が増えており、地域の高齢者同士で支え合いながら生活しています。1年前、実家に帰った時「何か楽しみはなかね～」と聞くと、「コミュニティカフェを開くとよ。」と楽しそうに話してくれました。内容を聞いてみると、地域の高齢者の方を集めてお菓子とコーヒーを準備しコミュニティの場所を作ること、認知症予防と少しでも楽しみを作るといった内容でした。参加費は100円。

しかし、感染対策の徹底に費用がかかり、「何かいい方法なかね。」と。

そこで佐賀市社会福祉協議会に開催の趣旨を説明し、協力して取り組むことになりました。私は助成金申請担当に。何とか「きりん財団の地域のちから応援事業」の助成が決まりコロナ感染対策機器を購入することができました。

「コミュニティカフェ」は毎月開催され、こどもたちも参加しやすいよう季節に応じたイベントを考え、高齢者とこども併せて70名ほどまでになり、会場は笑顔に溢れています。これからも故郷を大事にし、私ができる地域貢献を行っていきたく考えています。

NEXT…日の隈寮のあの人にバトンタッチ!!

令和3年5月～令和3年7月

協力ボランティア

【こども】 整肢学園友の会様 親和会様
【清流苑】 ビハーラ神埼様

施設見学来訪

【オークス】 西九州大学社会福祉学科 22名様
【かわ・好・糸】 (か) 唐津看護専門学校 4名様 唐津特別支援学校 13名様 伊万里特別支援学校 5名様 大坪小学校 1名様 パーソナルサポートセンター空 2名様 (糸) 福岡市立下山門小学校 1名様 TEKUNOBO 糸島 2名様 今津特別支援学校 3名様

実習生受入

【こども】 西九州大学リハビリテーション学科 1名 西九州大学子ども学科 1名 西九州大学短期大学部幼児保育学科 1名 佐賀大学医学部 1名
【清流苑】 神埼清明高校 7名
【かわ・好・糸】 (か) 西九州大学短期大学部幼児保育学科 3名 西九州大学子ども学科 3名 西九州大学リハビリテーション学科 2名 西九州大学短期大学部地域生活支援学科 1名 伊万里看護学校 38名 熊本駅前看護リハビリテーション学院言語療養学科 1名 (好) 西九州大学短期大学部幼児保育学科 2名 西九州大学子ども学科 1名
【日の隈】 神埼清明高校 7名

見どころ

マスクをしながらの夏も二度目になりました。コロナもまだまだ収束の目処が立たない世の中ですが、今回の TOPICS も各事業所の特徴が活かされた記事が盛りだくさんです。コロナ禍で普段通りの活動ができないなか、試行錯誤して利用者の皆さんを喜ばせたいという職員一人ひとりの想いが伝わってくるそんな1冊になっています。ぜひご覧ください。

